



Title	デジタル映像による色彩と抽象表現の研究
Author(s)	赤阪, 季与子
Citation	デザイン理論. 2008, 53, p. 114-115
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/53592
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

デジタル映像による色彩と抽象表現の研究

赤阪季与子

私の制作研究は、コンピュータ・グラフィックスを表現手段とする色彩と抽象表現の探究である。私は常に女性的な「やさしさ」「暖かさ」「繊細さ」「力強さ」「柔らかさ」「華やかさ」をもった「新鮮な感動」を与える作品を見せたいという思いをもって制作しつづけている。また、私は常に、直線、曲線、球そして立方体をそれぞれのシャープなキャラクターに仕立てた単純な形ゆえに、逆に過激に変化させることによって、おもしろく捉えることができる表現力の向上と画像の中の構成力の向上に努めている。また、予想すらしなかったイメージに感動し、それがさらに自分のイメージを膨らませつつ、その相互作用によって、一つの作品ができて上がり、良い結果を得ることも多々ある。あくまでも意識的な構成力の向上を中心として研究を進めながらも、またこれらの偶発性の表現に高められた作品を利用していくことで、新しい表現形成を探究していくことも重要課題と考えている。動画作品では、例えば、まばゆいばかりの光の強さや弱さの輝かせ方、色の濃淡や色調の変化によって、緊張感と温かみが織りなす世界を創り上げることについて研究を深め、さらに柔らかな光に包まれた、繊細な直線や曲線などのモチーフに、濃い青や淡い緑、冴えたピンクなどの色を組み合わせることによって、ふんわりとした女性的な、やさしさをもって、そっと触れてみたくなるような感覚の色と形、そして滑らかな動きの世界を演出するなど見る者に強い感動を与える視覚効果の高い新しい表現手法を開拓し、新たな表現領域を広め、緻密さを深め、そして

しなやかな発想および感性、思考、イメージネーションを豊かにし、造形力を向上させ、さらにそれを魅力的な価値のあるクオリティーの高いコンピュータ・グラフィックス作品の映像として演出することを目指すものである。自分の目指す制作の方向、つまり抽象的な色彩表現が、どのような関連性を持つのかという意味で、その示唆的な事例として、モホイ＝ナジ、ウィルフレッド、シェフェールらの作品と彼らの文献を手がかりにした。特に、モホイ＝ナジの技術観、シェフェールの外的パラメータを導入する「偶然性」の考え方、そして最近のデジタル技術の意味や新たな視覚の枠組みの問題は、クーショやミッチェルである。これらは今日のデジタルテクノロジーによるコンピュータ・グラフィックスの手法を考える上で大いなる示唆を与えている。

新しいデジタル技術は、もはや従来のような手の延長としての道具の域を越え、ユーザーとしての芸術家の支配から自立し、芸術家の意識に逆に作用を及ぼしながら、その表現は、創作者によってあくまでも意識的に処理が行なわれた作品と、他方、創作者の意識的操作を越えた偶発性の表現によって高められた作品とがあるように、作品は一種の仕掛けとして、一つの「創造力」となり、コンピュータ・グラフィックスだからこその表現、コンピュータ・グラフィックスでなければできないシミュレーションを可能にしたのである。そして今日、私たち創作者の意識を拡張し始めていることは確かである。それは、まさしく一つの超越したデジタル技術の新しい

視覚の形成とともに新たな表現の可能性を見出そうとしている。

静止画作品

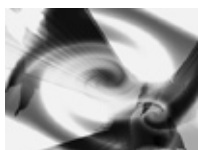
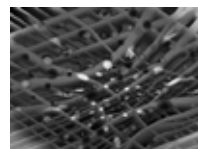


1. やわらか

ネコの毛やウサギの動物の毛並みを感じさせる心地よいやわらかい毛は、力強く大きくふんわりとふくらんだり、時には、ゆっくりと小さくなりながら、しなやかに動いている。そのような細く短い毛や長い毛の重なり、そっと触れてみたくなるような、生き生きとした極めてやわらかい質感を描いた。(728×1030mm)

2. 光の雫

朝露に、まぶしい日差しが映る一粒一粒のみずみずしい透明感のある赤、青、緑そして黄色の水滴は、光の強さあるいは弱さ、色の濃淡、そして色調の変化によって、さまざまな表情を見せる。そのような緊張感や温かさが織りなす世界を創り上げた。(728×1030mm)



3. 色よせ乙女

表情豊かな夢いっぱいの世界に舞う蝶は、赤い空、青い空、黄色い空、さまざまな色の空からふりそそぐデリケートな光を浴びて、ソフトな色合い、形の柔らかさを持って、艶やかで優雅なきらめきを保ち続ける乙女の姿を描いた。(594×841mm)

以上、機種－Power Mac G4／ソフト名－Adobe Photoshop 6.0／解像度－180dpi／出力－EPSON PX-7000で制作。

動画作品



1. 光の雫

この作品は、先に静止画作品で説明をしている。

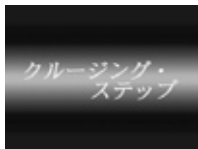
上映時間 2分26秒／音楽 ロックマン2 ワイリーステージ1 -Mix Arrange Mix-



2. 風のはるか

この作品は、軽やかなリズムが流れ、さわやかな風の世界に一気に引き込まれていく。そしてまた透きとおるような、さわやかなメロディーの奏でる中で、透明な光とともに新たな生命が誕生するシーンを描いた。

上映時間 3分11秒／音楽 バトル2 -軽く破壊アレンジ-



3. クルージング・ステップ

飽きのこないリズムに乗って、次々と踊り出すアクションが楽しい。そして、ワクワクしながら駆けめぐる軽いテンポあるステップのパフォーマンスは、活気に満ちあふれ、とてもダイナミックな感動がインパクトのある音と形そして美しい色たちの華やかな限りなく広がるパノラマとなっていく。

上映時間 1分48秒／音楽 スパルタンX 最初～ステージ面



4. 光の花園

この作品は、色とりどりの輝きに満ちあふれる光のデコレーション。そして、ひとときまばゆいばかりの光に彩られる。また、淡いブルーやピンク色の美しい光に包まれ輝きを増し、心ときめくロマンチックな風情を醸し出す。

上映時間 2分55秒／音楽 紅い実験曲

以上、機種－Power Mac G4／ソフト名－Adobe Photoshop 6.0, Adobe After Effects 5.5, Adobe Premiere 5.1, Quick Time Player, DVD Studio Pro3で制作。